

「優しい」のニュアンス —“柔和”と“溫柔”—

保坂律子*

Study on the Difference Between “柔和” and “溫柔”

Ritsuko HOSAKA*

要旨

現代汉语中の“柔和”と“溫柔”都含有「優しい」の意思, 因此初学汉语人常认为“柔和”与“溫柔”的意思一样, 其实这两个词的语法并不完全相同。本论文的目的是指出这两个词在语用上的不同, 以帮助初学者正确理解与应用这两个词。

0. はじめに

現代中国語“柔和”、“溫柔”はいずれも「優しい」、「穏やかである」という意味を持つ。人の声や表情、態度について「優しい」、「穏やかである」という意味で使用される場合、両者は互換性が高く、同じように使用することができる。

以下の(1)～(3)の例では“柔和”と“溫柔”は互換可能であり、ともに中国語として自然な表現である。したがって、このような例文を学ぶ中国語学習者は2つの語を同義語として理解することが多い。

- (1) 她说话的语调非常(柔和/溫柔), 态度却很坚决。(彼女の口調はとてもソフトだが、態度は毅然としている)¹⁾
- (2) 妈妈用(柔和/溫柔)的目光看着我。(お母さんは優しい眼差しで私を見ている)

- (3) 她(柔和/溫柔)地劝她听大家的意见。(彼女は彼にみんなの意見を聞くように優しく言って聞かせた)

中国語に限らず、外国語学習では初級段階においては、教科書の例文、辞書の訳語などを頼りに学習を進める。しかし、実際の言語生活では、辞書の例文が「すっ」と通じるとは限らない。辞書に挙げられているようなごく短い、会話の一部分のような例文やフレーズ等は、それだけを取り出して眺めれば、確かに自然で正しい文やフレーズであっても、実際の生活場面では、その場に相応しい語としては一方しか使えないことが多々あるからである。そのため、2つの語が互換可能な例を学習することに終始し、両者の差異やニュアンスの違いに気づく機会を持たずに学習が続けば、2つの語は「優しい」という同義語であるとの理解が定着してしまい、

*人文学部 心理学科

その結果、当該語句を使った作文練習や中国人との会話場面で正しくニュアンスが伝わらず「間違え」て、当惑することもおこるだろう。そこで初めて、2つの語が同じ日本語訳「優しい」であっても、実際の言語生活ではどちらの語も使用でき、かつ同義である場合は少ないことに思い至るだろう。さらに、両者が同じような意味で使用されているように見える場合でも重点の置かれ方が異なり、どちらを使うかでニュアンスが異なることにも気づくだろう。

中国語を正しく理解し、良好なコミュニケーションを可能にするためには、2つの語がもつ互換可能な意味を学ぶだけでなく、むしろ互換できない使用場面を多く知り、両者の差異を探ることを通じ、それぞれの語の持つニュアンスを理解することが、入門期以降の学習には有益であると筆者は考える。本稿は2つの語の特徴を語義、使用場面から考察し、中国語での良好な意思伝達、コミュニケーションの資とすることを旨とするものである。

1. 中国ではどう説明されているか—《現代汉语词典》²⁾の記述

先に挙げた(1)~(3)では、“柔和”と“温柔”にはともに「優しい」という意味を持つ日本語訳を付けた。そして、いずれの場合でも自然な中国語であると述べたが、実際はある程度の前後の文脈がなければ、そのニュアンスの違いは短い日本語訳の中に表すことは難しい。逆に短いゆえに、日本語訳では同じになってしまうことも否めない。

ここでは、まず中国語では2つの語がどのように記述されているのか見ておく。中国において最も規範的な中国語辞書《現代汉语词典》では2つの語は、次のようにごく簡潔に記述されている。

“柔和”：温和而不强烈（温和で強烈でない）
用例としては次の2つが挙げられている。

声音柔和（声が優しい）

光线柔和（光線が優しい）

“温柔”：温和柔顺（多形容女性）（温和で物柔らかである、多く女性を形容する）

こちらも2つの用例が挙げられている。

性格温柔（性格が優しい）

温柔的少女（優しい少女）

《現代汉语词典》に挙げられている2つの語の用例は、ともに「優しい」、「穏やかである」と訳出することができる。辞書の記述からは“柔和”は「温和で強烈でない」という意味から、日本語訳「優しい」、「穏やかである」が導かれ、“温柔”は「温和で物柔らかである」という意味から、日本語訳「優しい」、「穏やかである」が導かれることが理解できる。また《現代汉语词典》の記述から両者の意味の違いを挙げるならば、“柔和”は“不强烈”「強烈でない」こと、“柔和”は“柔顺”「従順である、物柔らかである」ことにあり、また“温柔”は女性の形容を主とする語のように理解できる。しかし、辞書の用例にあるようなごく短い文、フレーズから日本語に訳す場合、そのような細かな説明的な表現はできず、結局のところ「優しい」となってしまう。では両者の「優しさの」違いは、「強烈でない」ことと「従順である」という日本語にどこかで頼らなければ弁別できないのだろうか。

2. 辞書の用例の考察

ここでは、日本人中国語学習者の多くが手にするであろう辞書³⁾にはどのような用例が挙げられているか見てみたい。辞書に多く挙げられている「優しい」を意味する2つの語の用例は大きく次のように分類できる。

① 人の声や音声

人の声や音声が「優しい」、「穏やかである」という場合。

“柔和”

声音～。(声が優しい)

他的声音很～。(彼の声は穏やかである)

她的声音～动听。(彼女の声は優しく、そして人を引き付ける)

她的声音变得～起来了。(彼女の声が優しく変わってきた)

“温柔”

她说话的声音特别～。(彼女の話す声はとても優しい)

她从容地说话着、声音又～自信。(彼女はゆったりと話し、声は優しく自信にあふれている)

② 口調、言葉、まなざし

人の口調や、言葉、まなざしなどが「優しい」、「穏やかである」という場合。

“柔和”

她的语调很～。(彼女の口調はソフトである)

说话～。(話すのが優しい)

～的话语。(優しい言葉)

他十分～地回答说。(彼はとても穏やかに答えて言った)

～的目光。(優しい眼差し)

“温柔”

～劝大家听她的话。(優しくみんなに彼女の話聞くように言った)

～的目光。(優しい眼差し)

③ 性格

人の性格が「優しい」、「穏やかである」という場合。

“柔和”

他性情很～。(彼は性格が穏やかだ)

他太太脾气～极了。(彼の奥さんは気立てがとてもよい)

“温柔”

性格～。(性格が優しい)

性情～。(性格が穏やかだ)

她是个性格～，聪明美丽的女孩儿。(彼女は性格が優しく、聡明で美しい女の子だ)

④ 色、光線、風など

色彩や光線、風などが「優しい」、「穏やかである」という場合。

“柔和”

颜色～。(色が優しい)

色调～。(色合いが優しい)

新房的灯光很～。(新婚夫婦の部屋のあかりは穏やかである)

～的阳光。(優しい陽光)

光线～。(光線が優しい)

“温柔”

～的阳光。(優しい陽光)

春风～。(春風が優しい)

3. 「人が情愛を持って優しい」 “温柔” 一人の優しさ

実は、第2章で挙げた辞書の用例は、“柔和”、“温柔” がともに「優しい」という意味で互換可能なものばかりである。もしかすると、そのために2つの語は同義であるように思われてしまい、①、②、③の性格や口調といった人にかかわる用例から、一見「人が」優しいことも表すように誤って理解されてしまうかもしれない。しかし、上記の中には挙げられていない意味分類がある。それは「人自身」、「人そのもの」が「優しい」ことである。なぜなら「人そのもの」が優しいことは“柔和”は表せないからである。「人自身」、「人そのもの」が優しいことを表せるのは“温柔”だけである。

“温柔”は人が対象への「情愛を持っていて」「優しい」ことに意味の重点があり、主語として「情愛の心を持つ人」をとることができる。人の声や、口調、性格が「優しい」と表現するのではなく、人そのものを主語として「優しい」という表す場合、「優しい人」や「穏やかな人」のように人自身が「優しい」と表現する場合には、“温柔”を使い、“柔和”は使えないのである。以下の例を見てみよう。いずれも“温柔”を“柔和”に言い換えることはできない。

- (4) 温柔 (／*⁴ 柔和) 的女性 (優しい女性)
- (5) 姑娘很温柔 (／* 柔和)。(お嬢さんは優しい)
- (6) 他对妻子很温柔 (／* 柔和)。(彼は奥さんにとっても優しい)
- (7) 温柔 (／* 柔和) 的母亲最美。(優しい母親が一番素晴らしい)
- (8) 温柔 (／* 柔和) 的人不会碰伤人、也不容易被人碰伤。(優しい人は人を傷つけることはないし、人に傷つけられにくい)
- (9) 她想要找温柔 (／* 柔和) 的人结婚。(彼女は優しい人を見つけて結婚したいと思っている)
- (10) 他最近变得温柔 (／* 柔和) 起来了。(彼は近ごろ優しくなってきた)
- (11) 这位姑娘很温柔 (／* 柔和)、从来没见过他发火。(このお嬢さんはとても穏やかで、これまで怒ったのを見たことがない)
- (12) 温柔 (／* 柔和) 女人用微笑的力量、去关照身边每一个人、去感化需要帮助的人、去影响情感困惑的人。(優しい女性は微笑みの力で、周りの人々をもてなし、助けの必要な人に尽くし、戸惑っている人を癒そうとする)

一般に、辞書は限りある紙面に基本的意味を表す用例を収めている。したがって、意味的な

記述が優先され、文法的説明に十分なスペースを割けるわけではない。そのため“温柔”がとる主語についても、特に言及している記述はない。“温柔”と“柔和”の違いの正確な理解のためには、人自身について「優しい」と言える“温柔”と、人自身を指しては「優しい」という意味で使えない“柔和”の表す「優しい」、「穏やかである」とを対比し用法の違いに注意を促す必要がある。

4. 「人に心地よく感じさせて」優しい“柔和”

“温柔”が人自身を指して「優しい」と言えるのに対し、人ではないモノが「穏やかである」、「心地よく感じさせて優しい」という場合には、“柔和”を用い“温柔”を用いて表すことはできない。“柔和”は、「激しくなく、穏やかである」ことから、人に心地よいと感じさせて「優しい」ことを表す点に、その意味の重点がある。もちろん「心地よい」と感じとる受け手の存在が前提である。

- (13) 柔和 (／* 温柔) 的绿色。(柔らかな感じの緑色)
- (14) 柔和 (／* 温柔) 的咖喱风味。(マイルドなカレー風味)
- (15) 柔和 (／* 温柔) 防晒露。(マイルド日焼け止めローション)
- (16) 柔和 (／* 温柔) 的音乐。(心地よい音楽)
- (17) 柔和 (／* 温柔) 的酱香酒。(マイルドな醬香酒)
- (18) 拍摄柔和 (／* 温柔) 效果的照片。(ソフト効果の写真を撮影する)
- (19) 书房里光线很柔和 (／* 温柔)。(書斎の中は明かりが優しい)

(13)ではビビッドな緑ではなく、ふんわりとして見る人の目に優しい色合いを表す。(14)は

辛さがほどほどマイルドな、それを食する人の嗜好に合ったものであることを意味する。また(15)は、刺激が少なく「お肌に優しい」使用感であることを表す。(16)は聴いていて少しも耳障りにならない、むしろ心地よい環境音楽などであるだろう。(17)の“酱香酒”は強いことで有名な、アルコール度数の高いマオタイ酒の一種で口当たりのよいものであろう。さらに(18)ではシャープネスが低く、ソフトフォーカスであることを表す。(19)は読書や勉強するのに適した影のできないような明かりだったり、間接照明だったりするのだろう。これらに共通する「優しい」は《現代汉语词典》でいう「強烈でない」という共通項を持つことは確かであるが、辞書の記述には、その「強烈でない」ことについて、人以外の事象や「モノ」について言う、ということは記述されていない。

“柔和”が人に関して「優しい」という意味で使えるのは、人そのものではなく、(1)～(3)や第2章①、②、③に挙げたようにその声や口調、まなざし、態度などが「人に心地よいと感じさせて」優しい、と言う場合に限られる。教学の場ではこの“柔和”のもつ“溫柔”との違いを意識して指導することが大切であろう。

5. モノでも“溫柔”が使える場合

第3章では、人自身について「優しい」という場合には“溫柔”を用いると述べたが、では人以外のモノについては“溫柔”を使うことはできないのか、というと実は必ずしもそうではない。モノであっても「優しい心を持つ」と見立てが可能であれば、以下のように“溫柔”を用いることができる。次の(20)～(25)で見てみよう。

(20) 冬天温柔的阳光亲吻着她的脸庞。(冬の優しい陽光が彼女のはほにキスしている)

ここでは、頬にキスをしているのは“阳光”であるから、陽光が「優しい心を持つ」人との見立てがされて擬人化されていることは明白であり、「優しい」には“溫柔”が使われている。

また、よく“溫柔”は自然事象について用いられることも多い。山や海、川や湖、そこに吹く風や注ぐ光など自然の変化は「(優しい)心を持つ」と見立てられやすいため、と考えると理解しやすいのではないだろうか。

(21) 夜风, 温柔地吹着, 带来了旷野里泥土的香气。(夜風が優しく吹き、荒野に土のにおいを運んできた)

(22) 月光下的淀山湖变得特别温柔平静。(月光の下の淀山湖は特別穏やかで優しく静かになった)

ここで先に、互換可能とした以下の例をもう一度見てみよう。

(23) 光线(柔和/温柔)。(光線が優しい)

(24) (柔和/温柔)的春风。(優しい春風)

(25) 冬天(柔和/温柔)的阳光。(冬の穏やかな陽光)

すでに述べてきたが、これらの用例には互換可能であってもニュアンスの違いがあることが分かるであろう。(23)～(25)で“柔和”を用いた場合には、光線や春風、陽光が「強烈でなく、穏やかで」優しい、というニュアンスであるのに対し、“溫柔”を用いた場合には、光線や春風、陽光が「情愛を持って、慈母のように、包み込むように」優しい、というニュアンスを持つ。“柔和”では「強烈ではない」こと表すのに対し、“溫柔”では光線や春風、陽光が「心を持つもの」として擬人化されていると考えれば分かりやす

い。次の(26)“暖意”も「心を持つもの」である。

(26) 温文尔雅的毛线裙、为渐凉的天气增加温柔的暖意（上品な毛糸のスカートは、だんだん涼しくなる天气に優しい温もりをもたらしてくれる）

また、次の「うそ」や「誘惑」のように、それを発する「心を持つ人」が意識される場合も“温柔”が使われる。

(27) 温柔的谎言。（優しいうそ）

(28) 温柔的诱惑。（優しい誘惑）

6. 「優しい」は女性専用か？

第1章ですでに述べたように、“温柔”は辞書によく「女性の優しさに言うことが多い」と記されている。日本でも「優しい」、は女性の専売特許のように思われてきたふしもあるが、現代では「優しい」男性も多い。男性が優しいのはプラスイメージでこそあれ、決してマイナスイメージではない。現代では男性が「優しい」ことは、男らしさと相容れないものではなく、むしろ褒め言葉であると言ってもよい。その証拠に、先に第3章で挙げた次の用例のように、男性の形容に“温柔”が使われることも少なくない。

(6) 他对妻子很温柔。（彼は奥さんにとっても優しい）

(9) 她想要找温柔的人结婚。（彼女は優しい人を見つけて結婚したいと思っている）

(10) 他最近变得温柔起来了。（彼は近ごろ優しくなってきた）

上記3つの例には、“他”や“温柔的人”で表されている男性の年齢を示すものはないが、

おそらく若者から中高年までの年齢幅の中に納まるとされる。また、次のように男性のおよその年齢が推測できる用例もある。

(29) 鼓二小二年二班的翁昕好和一年八班的潘江翰不约而同地说道：“习爷爷看起来很温柔，他一定是个很好很好的人。”（鼓二小の2年2組の翁昕好と1年8組の潘江翰は期せずして同時に言った。「習おじいさんは見たところとっても優しいよ、きっとすごくすごく良い人だよ」）

(30) 佩戴时尚眼镜的刘恺威温柔绅士气质十足。（流行の眼鏡をかけた劉愷威は優しい紳士の風格に満ち満ちている）

(29)では、小学生の子供たちがおじいさんを評して“温柔”と言い、そのあとに「すごくすごく良い人」と続けている。また(30)では俳優の劉愷威が、ある眼鏡ブランドのキャンペーンで眼鏡をかけた姿を「優しい紳士の風格に満ち満ちている」と評したものである。これらの例からも“温柔”は老若を問わずに、男性のプラス評価として使われることが理解でき、“温柔”が女性の専売特許でないことは明らかである。

7. 「柔らかい」—“柔和”のみが持つ意味

“柔和”には、これまで取り上げてきた人の声や音声、口調、態度や性格、色や光線、風など以外に、直接触れることが可能なモノが「柔らかい」、「ソフトである」という意味を持つ。“温柔”にはこの用法がない。

(31) 手感柔和（／*温柔）。（手触りが柔らかい）

(32) 这块布料摸起来感觉很柔和（／*温柔）。（この布は触ってみるととても柔らかい）

8. 結び

本稿では日本語で「優しい」、「穏やかである」という意味を持つ中国語「柔和」と「溫柔」について考察した。まず第1章では、中国においてもっとも規範的な《現代汉语词典》での記述について考察した。第2章では中国語学習者が手にすることの多い辞書に挙げられている2つの語の用例の表す「優しい」について分類し、考察した。第3章では「溫柔」が表す「優しい」の意味の重点がどこにあるかを考察した。第4章では「柔和」が表す「優しい」の意味の重点がどこにあるかを考察した。第5章では、人以外の形容に「溫柔」が使用可能な場合について考察した。第6章では、女性の形容に多用されるといわれる「溫柔」が、男性についても使用される場面について考察した。第7章では「柔和」のみが持つ用法を紹介した。

以上から、「柔和」と「溫柔」の2つの語は同義のように思われがちであるが、両者の違いは、「溫柔」は「人が情愛をもって優しい」ことに意味の重点があること、一方「柔和」は「激しくなく、穏やかである」ことから「人に心地よく感じさせる」ことに意味の重点があり、人に関して「柔和」が使えるのは、人そのものではなく、声や口調、眼差しや態度などを言う場合に限られることを明らかにした。また、人以外のモノであっても、「心を持つ」と見立てが可能な場合には、「溫柔」が使えることも明らかにした。「溫柔」は「情愛をもって」ということからか、従来は女性の優しさについての形容に多用されていたようだが、昨今では老若を問わず、男性の優しさの形容としても用いられ、それがプラスイメージを持つことも合わせて明らかにした。

今後、中国語での良好なコミュニケーションの資とするため、本稿で明らかにした点を教学の場で適切に指導していきたい。また、本稿で

取り上げた2つの語以外の「優しい」を表す類義語にも考察範囲を広げて研究を進めていきたい。

【参考文献】

- 《現代汉语词典》第六版 2012年中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 商务印书馆
《現代汉语规范词典》第二版 2010年李行健主编 外语教学出版社
《HSK 汉语水平考试词典》2000年 邵敬敏主编 华东师范大学出版社
《HSK 词语用法详解》2000年 黄南松 孙得金主编 北京语言文化大学出版社
《現代汉语同义词词典》2004年 刘叔新主编 南开大学出版社
《1700对近义词语用法对比》2005年 杨寄洲编著 北京语言大学出版社
《常用同义词词典》2000年 唐逸青主编 首都师范大学出版社
『中日辞典』2002年 北京商務印書館・小学館共同編集 小学館
『講談社中日辞典』第三版2010年 相原茂編集 講談社
『東方中国語辞典』2004年東方書店+北京商務印書館共同編集 東方書店
『白水社中国語辞典』2002年 伊地智善継編 白水社
「“柔和”と“溫柔”」2009年 保坂律子 中国語ドットコム http://www.chugokugo.com/news/column_detail-127.html

【注】

- (1) 以下訳は筆者による。
- (2) 1978年、商務印書館により刊行された《現代汉语词典》は、極めて広範な読者層に愛用され、2012年までに5回も版を改め、発行された当代中国における最も権威的な中型中国

語辞書である。

- (3) いずれも参考文献に挙げている辞書からの引用。一部ネットから利用もある。
- (4) *はその語は使用できないことを示す。